

平成30年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

本園で学ぶ園児に向けて、環境を通して行なう教育を基本とし、社会との連携及び協働により、資質・能力の向上を図る為「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の三点を重視します。教師は幼児期の特性を捉え、教育に対し感謝の気持ちを持ち、のびのびと明るく元気に安心して過ごせる園を目指します。また、豊かな心と健やかな体を育み、一人ひとりの人格形成と生きる力の基礎を培う教育を実践します。

- 1、四條畷学園の建学の精神「報恩感謝」、教育理念「人をつくる」、教育方針「個性の尊重」「明朗と自主」「実行から学べ」「礼儀と品性」を踏まえ、豊かな人間形成の基礎を育みます。
- 2、安心・安全な環境のもとで集団生活を送り、基本的な習慣を身に付けるとともに、子どもが主体的に活動しようとする積極的な態度を養います。
- 3、遊びや活動を通して、自然や社会に対する関心を広げ、人との触れ合いや協力を通して、基本的な信頼感や心身の調和した発達の基礎を培います。
- 4、子ども一人ひとりをよく見守り、子どもの健全な成長を促すことができるよう、その個性・特性に応じた指導を行ないます。
- 5、保護者や地域と連携・協力し、より多様な教育環境を創り出すことによって、子どもの生活体験を豊かにし、いきいきとのびやかな成長を促します。

2 中期的目標

- 1、心身の健全な成長を促し、豊かな人格形成の基礎と感謝の心を培います。
 - (1) 健康で明るく活発な子どもを育てます。(体の力)
 - (2) 自ら考えて行動する子どもを育てます。(学ぶ力)
 - (3) 思いやりと優しさのある子どもに育てます。(心の力)
- 2、基本的な生活習慣の形成と規範意識を高め、社会のマナーを身に付ける。
 - (1) 基本的な生活習慣の形成とルールを守ることやマナーを身に付けます。
 - (2) 集団生活に必要な態度と行動を身に付けます。
- 3、安全・安心な教育環境を整え、子どもが自発的な活動としての遊びを通しての総合的な指導を行ない、一体的に積極的で活発な活動を促します。
 - (1) 安全・防災教育を推進し子どもの安全を確保するとともに、危険を回避する力を身に付けます。
 - (2) 子どもが安心して楽しく生活できる環境を整備し、興味や関心を広げます。
 - (3) 自然や社会に触れて感じたり理解したりすることができる環境を整備します。
- 4、教育課程を通して積極的に取り組む行動や友達と助け合い協力する態度を身に付けます。
 - (1) 運動や戸外の遊びを楽しみ、意欲を高め挑戦しようとする気持ちや技能を養います。
 - (2) 読む・書く・数えることに興味や関心を持ち、考える力・表現する力を身に付けます。
 - (3) 友達と一緒に喜んで活動に取り組み、努力することや力を合わせることの大切さを学びます。
- 5、子どもの個性・発達・特性に応じた指導を丁寧に行ないます。
 - (1) 子どもの個性の違いを踏まえて一人ひとりに適切な援助を行ないます。
 - (2) 子どもの成長や発達、特性の違いを踏まえてその子に応じた支援を行ないます。
- 6、保護者・地域社会・小学校と連携した円滑な教育活動を実施します。
 - (1) 保護者と連携しながら意識を高め、充実を図り共に子どもを育てます。
 - (2) 地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動（見学会・子育て相談・子育て談話会・園庭開放など）を実施します。
 - (3) 幼稚園・保育所・小学校の交流会に参加し、情報の共有や教育課程・保育課程について理解を深め円滑な接続を図ります。
- 7、教職員の研修を推進し、幼稚園運営体制の充実を図ります。
 - (1) 園外・園内研修会を促進し、また、充実させ教職員の資質向上を図ります。
 - (2) 教職員の共通理解と協力体制を築き、教育力の向上と教育内容の充実を図ります。
- 8、幼稚園入園希望者の保護者ニーズを研究し、受験者数増加につなげます。
 - (1) 園からの情報発信を強化して、募集対策の強化を図ります。
 - (2) 預かり保育をより充実したものにします。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [2018 (H30) 年 7 月保護者アンケート・11 月自己評価アンケート実施分]				学校協議会からの意見 [2019 (H31) 年 1 月]
※過去 3 年間の保護者アンケートの推移				<p>○教学面、心身の健全な成長面</p> <p>①平成 30 年 4 月 1 日から、幼稚園教育要領が改訂になり、小学校入学までに身に付けたい 10 の目標が明確になった。</p> <p>②幼稚園では、教育要領をもとに、建学の精神である「報恩感謝」実践するため YY プロジェクト（ヨコミネ式保育）を取り得れているが、保護者アンケートや自己評価アンケートでも、数値が高いのは評価できる。</p> <p>③これからも、地域に根差した四條畷学園であるように、子ども達にとって学校生活の最初である幼稚園に期待している。</p> <p>○保育面、基本的な習慣とマナー指導面</p> <p>①マナー教育や躾教育は、その難しさが数字に表れている。毎日の保育の中で、身に付いていくものであり、家庭でも協力をしていきたいと考える。</p> <p>②創立者が言われた「Mannes makes man」を双方大切にしていきたい。</p> <p>○設備・環境面、安全・安心な教育環境面</p> <p>①総合学園として教育環境や設備面は充実している。園舎に於いても日々清掃を徹底しているようで、いつも清潔感を感じるため、保護者が安心して園に預けることができる。</p> <p>②園からの連絡方法として「ミマモルメ」を上手く活用されており、適切なタイミングで、連絡が来る点は、とても大切なことと捉えている。また、</p> <p>③今年度より「Instagram」を始めたことは、園の様子、子ども達の様子など園の動きが良く分かる。</p> <p>④保護者が安心して、子どもを預けられるように安全対策において、設備的には最新のものであるが、それを使うソフト面が大切である。想定できる範囲で、警備員の配置から、緊急時のマニュアルなどを作成されている点は評価できると思う。</p> <p>○保育内容面、積極性や協力する態度を養う教育課程面</p> <p>①教職員の保育に対する姿勢の高さのお陰で、保護者からも信頼を集めていることは、アンケート数値からも読み取れ、園側の評価もほぼ同じであると思える。</p> <p>②「心の力」「学ぶ力」「体の力」の育成は、建学の方針を実践する大きな目標であり、重要なものである。これからも子ども達が通うのを楽しみにする幼稚園であってほしいと願う。</p> <p>○幼稚園生活面、子どもの個性・特性に応じた指導面</p> <p>①「個性の尊重」は、四條畷学園の教育方針の一つであり、様々な個性を持つ子ども達を、園側が上手に伸ばしていると判断できる。これからも、集団の中の一人として、一人が集団に及ぼす影響を踏まえた保育をしている点を見失うことなく、日々の保育を心がけていただくことを願う。</p>
質 問 項 目	H28	H29	H30	
1,四條畷学園大学附属幼稚園に入園してよかった	4.64	4.68	4.57	
2,教育の目的や目標が子ども達の育ちに生かされている	4.47	4.46	4.37	
3,先生は相談しやすい	4.47	4.48	4.42	
4,先生は保護者との信頼関係を築く努力をしている	4.46	4.5	4.42	
5,相談などに対して誠実に対応し連携を図っている	4.43	4.47	4.43	
6,子ども達は先生に親しみを持っている	4.57	4.65	4.65	
7,子ども一人ひとりを大切に受け止めた指導を行なっている	4.24	4.39	4.39	
8,幼稚園の環境・施設・設備はよい	4.61	4.65	4.64	
9,環境整備や掃除が行き届き子どもが生活しやすい環境になっている	4.67	4.7	4.72	
10,子ども達はマナーを身につけてきている	4.27	4.3	4.31	
11,集団生活に必要な態度と行動が身につけてきている	4.33	4.37	4.35	
12,挨拶や片付けができてきている	4.22	4.15	4.13	
13,保育内容は充実している	4.38	4.39	4.31	
14,心の力がしっかり育まれる保育を行なっている	4.17	4.24	4.2	
15,学ぶ力がしっかり育まれる保育を行なっている	4.45	4.47	4.42	
16,体の力がしっかり育まれる保育を行なっている	4.59	4.65	4.62	
17,子ども達の参加する行事に満足している	4.27	4.25	4.2	
18,園に行くことを楽しみにして喜んで行事に参加している	4.46	4.44	4.43	
19,園の行事に保護者や地域の人が参加しやすいように工夫されている	4.09	4.02	3.92	
20,子ども達への安全確保(セキュリティー)に注意が払われている	4.31	4.28	4.24	
21,子どもが安心して生活できる環境設備になっている	4.52	4.49	4.42	
22,幼稚園からの緊急連絡が速やかに伝わるように工夫されている	3.63	4.49	4.5	
23,幼稚園の情報や活動を園便りやホームページなどで分かりやすく伝えている	4	4.36	4.26	
24,預かり保育は利用しやすく安心して預けることができる	3.92	3.9	3.7	
25,課外教室は豊富で選びやすく満足している	3.97	3.96	3.92	

平成 30 年度 自己評価アンケートの推移（平成 29 年度との比較）

◎評価項目：教育（保育）活動及び幼稚園に対する全体的評価を行なった

◎評価方法：各項目について 5 段階で評価を行なった（小数点第 2 位を四捨五入）

◎参考資料として平成 30 年度保護者アンケートの数値を添えた

α H29 年度に比較して… ↑アップ ↓ダウン →→数字 同じ

β 0.3P ダウンの場合は… 項目赤文字

γ 目標数値 4.0 に満たなかった項目… ↑・↓ 数字

① 心身の健全な成長

- 1、子ども達は心身共に目標通り成長できていると思う ↓ 0.1P で 4.1
2、温もりのある保育を実践しながら思いやりの気持ちを育てていると思う →→で 4.2
3、子どもの育ちから四條畷学園大学附属幼稚園に勤務して良かったと思う ↓ 0.1P で 4.4

② 基本的な習慣とマナー

- 4、子ども達は全体的にマナーを身に付けてきていると思う ↑ 0.1P で 4.0
5、学年の全体的な生活習慣は身に付いてきていると思う ↓ 0.1P で 4.0
6、挨拶や整理整頓についての指導ができていていると思う ↑ 0.1P で 4.0
7、食事に関して正しい習慣が身につけてきていると思う ↑ 0.2P で 4.0
8、きまりを知り守ろうとする気持ちや物事の善悪を理解する心が育っていると思う →→で 4.0

③ 安全・安心な教育環境と子どもの活発な活動

- 9、子ども達への安全確保（セキュリティ）に注意が払われていると思う →→で 4.2
10、子ども達が安心して生活できる環境になっていると思う ↑ 0.1P で 4.3
11、園からの緊急連絡が速やかに伝わるよう工夫された体制が整っていると思う ↓ 0.1P で 4.6

④ 積極性や協力する態度を養う教育課程

- 12、保育内容は充実していると思う ↓ 0.1P で 4.3
13、子ども達に心の力が目標通り育まれていると思う ↓ 0.1P で 4.0
14、子ども達に学ぶ力が目標通り育まれていると思う →→で 4.2
15、子ども達に体の力が目標通り育まれていると思う ↑ 0.1P で 4.3
16、園に行くことを楽しみにして喜んで行事にも参加していると思う ↓ 0.3P で 4.2

⑤ 子どもの個性・特性に応じた指導

- 17、子ども達は先生に親しみ信頼関係はよいと思う ↓ 0.1P で 4.2
18、個々の成長、発達、特性の違いを踏まえた指導支援ができていていると思う ↑ 0.2P で 4.2
19、子ども一人ひとりを大切に受け止めた指導を行なっていると思う ↑ 0.1P で 4.3
20、課外教室は豊富で選びやすく満足できると思う ↓ 0.2P で 4.1

⑥ 保護者・地域と連携した教育活動

- 21、保護者との信頼関係を築く努力をしていると思う ↓ 0.1P で 4.1
22、保護者から相談を受けることが多いと思う →→で 3.6
23、保護者の相談などに対して誠実に対応し連携を図っていると思う ↑ 0.2P で 4.4

⑦ 教職員の研修を推進し幼稚園運営体制の充実

- 24、預かり保育は利用しやすく安心して預けることができると思う ↓ 0.1P で 3.9
25、ねらいや目標に向かって日々研究し努力していると思う ↑ 0.1P で 4.3
26、自分の目標は現時点で達成に近づいていると思う ↑ 0.2P で 3.9
27、子どもにあった環境を見つめ意欲が高まるよう取り組んでいると思う ↑ 0.3P で 4.3

○情報伝達面、保護者・地域と連携した教育活動面

- ①正課の保育だけでなく、開かれた幼稚園であるためにも、行事において、保護者や地域を連携した活動が大切になってくる。子ども達だけの行事大切だが、保護者参加型の行事も多く組まれていることが、評価に繋がっていると思われる。
- ②実施曜日には保護者それぞれの都合があるが、できるだけ多くの保護者が参加できるように考慮されている点が数値から読み取れる。

○教職員の自己研鑽、幼稚園運営・募集広報面

- ①教職員が園内研修や外部の研修に積極的に参加して、保育力の向上を目指している点は、行事予定表などで伝わってくる。これからも、その気持ちを見失うことなく、向上心を持って保育をし、子ども達、保護者、教職員が共に成長できるように願う。
- ②預かり保育においては、システム上、事務手続き上に改善の跡が見られることは、PDCA サイクルを重視しているのが伝わってくる。更に利用しやすくする点として、費用面、保育時間帯、長期休暇中の実施などの検討をお願いしたい。
- ③課外教室においても、参加希望人数を考慮しながら、保護者ニーズと調整していただくとことを願う。
- ④運営面で重要なのは募集対策なので、今年度新たに取組んだ内容として、園情報の発信をテーマに、Instagram、外部説明会に参加、園見学会に説明会を追加、Web による広告、「かもめーる」による 0～4 歳児のエリアを絞ったポスティング、パンフレットの新調、募集要項の外部依頼、ホームページの改訂など、様々な取り組みをしたことで、定員には達していないが、新入園児数が盛り返したことは、評価に値すると思われる。

◎総括

日々幼稚園が取り組んでいる丁寧な保育姿勢が、アンケート結果を見ると、取り組み評価として、教学面、設備面、安全対策面、募集広報面などに渡り詳細に分析されていることが分かる。

伝統に支えられた四條畷学園大学附属幼稚園の歴史、教育メゾット、保育に対する教職員の姿勢は、概ね高評価を受けているが、ただ、時代の流れの検証が今後も必要だろう。

共働き世帯の増加により、保護者の利便性を更によくするためにも、チケット申し込み方法（チケットの自動販売機の設置場所等）や給品部の営業時間再検討をお願いしたい。

幼児教育の無償化で、幼稚園だけに留まらず、保育園、認定子ども園などは、大きく流れが変わることが想定される中、幼稚園の現状と保護者ニーズ、社会の動きを十分検証し、よりよい方向に改善されていくことを願う。

3 [学校全体]

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標
1 心身の健全な成長を促し、豊かな人格形成の基礎と感謝の心を培います。	1、健康で明るく活発な子ども、自ら考えて行動する子ども、思いやりと優しさのある子どもを育てます。 2、感謝の気持ちが持てるような環境整備をします。	1、健康で明るく活発な子ども（体の力）の育成し、自ら考えて行動する力（学ぶ力）と思いやりと優しさのある子ども（心の力）を育成します。 2、卒園文集作りやお世話になっている方へ感謝の気持ちを持ち表現できる環境整備を行ないます。	1、保護者評価点 4.2 教職員自己評価点 4.3 2、保護者評価点 4.2 教職員自己評価点 4.3
2 基本的な生活習慣の形成と規範意識を高め、社会のマナーを身に付けます。	1、基本的な生活習慣の形成、ルール順守とマナーの向上を目指します。 2、集団生活に必要な態度と行動を身に付けます。	1、挨拶、衣服の着脱、排泄の習慣などの基本的な生活習慣の形成と、食育の意識を高めるとともにマナーの向上を目指します。 2、きまりを理解して集団のルールを理解させ、みんなの中の一人の動きを意識する力を培います。	1、保護者評価点 4.0 教職員自己評価点 4.2 2、保護者評価点 3.9 教職員自己評価点 3.9
3 安全・安心な教育環境を整え、子どもの積極的で活発な活動を促します。	1、安心・安全な教育環境の整備を行ないます 2、子どもの積極的な活動力を培います。	1、保育室の環境整備と子ども達への安全確保（セキュリティ）に努め、安全についての関心を高めます。 ①登降園の安全対策、けがの予防や感染予防の意識を高めるために防災・避難訓練を実施するとともに、園内での健康面における情報を伝えます。 2、教材・遊具・用具を利用して、活発な行動を身に付けるとともに、植物や野菜の栽培や飼育を通して、命の大切さを積極的に気づかせます。また、園外保育で視野を広げ、人との触れ合いの場を積極的に作ります。	1、保護者評価点 4.0 教職員自己評価点 4.0 2、保護者評価点 4.0 教職員自己評価点 4.1
4 教育課程を通して積極的に取り組む行動や友達と助け合い協力する態度を身に付けます。	1、教育環境の整備、充実を図ります。 2、教職員の資質向上を図ります。	1、運動や戸外の遊びを楽しみ意欲を高め、挑戦しようとする気持ちや技能を養います。 ① 読む・書く・数えることに興味や関心を持ち、考える力・表現する力を身に付けます。 ② 友達と一緒に喜んで活動に取り組み、努力することや力を合わせることの大切さを学びます。 3、学年目標を明確化し、実績を常にチェックします。教職員の協力・連携の強化し、教育力・教育内容の充実を図ります。	1、保護者評価点 4.0 教職員自己評価点 4.1 2、保護者評価点 4.0 教職員自己評価点 4.1
5 子どもの個性・発達・特性に応じた指導を丁寧に行ないます。	1、健康でよく気がついて、自然と優しくできる子どもに育てます。 2、個性の伸長を踏まえた指導、支援を行ないます。	1、遊びや活動を通して、健康で活発で、よく気がつき、自然と優しくできる心を培い、園にくることを楽しみにできる環境を整えます。 2、一人ひとりの子どもの個性・発達・特性に応じた指導を行ないます。	1、保護者評価点 4.0 教職員自己評価点 4.1 2、保護者評価点 4.0 教職員自己評価点 4.1
6 保護者・地域・小学校と連携した教育活動を実施します。	1、保護者と連携しながら意識を高めるための環境を整備します。 2、地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動を実施します。 3、幼小連携の交流会や研修に参加し、特に内部進学強化と推進を図ります。	1、「ミマモルメ」や文書、電話連絡等で保護者との密な連絡と連携を図り豊かな教育活動に努めます。 2、保護者・地域住民へ情報提供し、教育活動の支援と奨励に努めます。 3、幼小連携の交流会や研修に参加し、内部進学強化と推進を図ります。	1、保護者評価点 4.1 教職員自己評価点 4.3 2、保護者評価点 4.0 教職員自己評価点 4.0 3、保護者評価点 4.0 教職員自己評価点 3.9

<p>7 教職員の研修を推進し、幼稚園運営体制の充実を図ります。</p>	<p>1、園外・園内研修会を促進し、また、充実させ教職員の資質向上を図ります。</p> <p>2、教職員の協力・連携を強化し、教育力の向上と教育内容の充実を図ります。</p>	<p>1、園内研修で研鑽を積み、園外研修での情報の共有するようして資質向上を図ります。</p> <p>2、園児の情報の共有化やキンダーカウンセラーからのアドバイスを重要視して、教育力向上に努めます。</p>	<p>1、保護者評価点 4.0 教職員自己評価点 4.1</p> <p>2、保護者評価点 4.0 教職員自己評価点 4.2</p>
--------------------------------------	---	---	---